



湯田 哲 議員

**針生地区で民間による水力発電所への調査の具体的内容は**

町長↓「株式会社グリーン電力エンジニアリング」による流量調査

**問** 針生地区で水量調査を開始した企業名とその調査内容は。

**町長** 8月に「株式会社グリーン電力エンジニアリング」から調査に入りたいとの連絡があり、今後、年間を通した河川の流量調査を行うと聞いています。

**問** 3月の一一般質問において「水力発電で産業の活性化をして町長は旧針生発電所の施設により発電事業をする事業者があれば、町は側面的な支援を行う」との答弁でした。「側面的な支援」とは。

**町長** 事業者が発電事業を実施すると判断した場合、事業に係る各種申請手続きの際の情報などについて可能な範囲で提供していきます。



旧針生発電所

**住民生活でのWi・Fi環境充実のためシェアモテムを**

町長↓現時点で整備する考えはない

**問** スマホが年配の方々には普及し、教育では、タブレットによる電子教科書の導入が進んでいます。これには自宅でのWi・Fi環境の充実が必要ですが、本町の分散した全ての地区の公共Wi・Fi環境整備には莫大な予算と時間を必要とします。

一般家庭用Wi・Fiモテムは30mの距離で使用可能、特定宅に町が設置したモテムを近隣のWi・Fi環境の無い家庭が共有して使う、仮称「シェアモテム」による住民生活でのWi・Fi環境の充実を。

**町長** 仮称「シェアモテム」は可能ですが、既にインターネット回線を引込んだ家庭との公平性を考えると、一定の料金はいただくこととなります。地理的な観点では、住宅密集地であれば、シェアモテムの活用は可能ですが、本町はそのような場所

だけでなく、個別にモテムを設置することも予想されます。また、法令やセキュリティ、財政面などの課題もあり、現時点で整備することは考えていません。

その他の質問

・ 駒止温泉での携帯通話可能にするために

